

「グローバルとよなか」からのお知らせ

\*\*\* フェアトレードへのお誘い \*\*\*

インドネシアから素敵なバッグがとどきました！  
 阪急豊中駅近くの「グローバルとよなか」では、現地支援のためのネパール、インドネシア、タイなどの品物を頒布しています。TIFA が支援して今年3月に完成したインドネシア・ジョクジャカルタのソノセウトレーニングセンターでは、約30名の女性たちが自立のために、ミシン縫製を学んでいます。熟練したメンバーは町の店へ卸していますが、販路が限られて苦勞しています。皆様に受入れていただければ、TIFAでも定期的に仕入れたいと思います。よりよい商品の開発のためにアドバイスをお待ちしています。とてもおしゃれで使いやすいバッグです。ぜひ一度手にとってごらんください。



袋物 大 ¥1,500 (A4サイズが入ります)  
 中 ¥1,000

**無農薬のフェアトレードコーヒーはいかが？**  
 ブラジル・エクアドル・メキシコの小規模農民が作った有機栽培・完全無農薬のコーヒー豆を販売しています。秋の夜長、ゆったりした深い森の味わいをぜひお試しください！  
 (フェアトレードとは生産者から搾取することなく正当な対価によって取引する貿易システムです)

グローバルとよなか 電話 06-6850-0502

\*\*\* MESSAGE \*\*\*

TIFAの皆様へ  
 大地震後のソノセウ小学校再建への心強いご支援、ありがとうございます。皆様が小学校内に作ってくださった「ソノセウトレーニングセンター」の存在は、この地域の子どもにも大人にも大きな励みとなっています。  
 このたびトレーニングセンターでは、TIFA はじめ日本の皆様のために、伝統的な生地パティックを使ったバッグの製作をスタートしました。皆様がこのバッグを気に入ってくださり、未永く愛用していただければ幸いです。  
 バグス・ウイボウ  
 (元大阪大学インドネシア留学生会会長)

EVENTS

お問い合わせ・お申し込みは  
 TIFA 事務局まで。  
 Tel/Fax: 06-6840-1014

**多文化子育てサロン**  
 第1・第3木曜日 10:00-13:00  
 とよなか国際交流センターにて  
 対象：外国人親子

**ワールドクッカー**  
 「イタリアの家庭料理とお話」  
 11月29日(土) 10:30-14:30  
 とよなか国際交流センター  
 参加費 1,500円(要申込)

**良品バザー**  
 毎月第3日曜日 10:00-14:00  
 グローバルとよなかにて  
 お気に入りのものが見つかるかも？お立ち寄りください！

**地球環境井戸端会議**  
 毎月第3日曜日 14:00-16:00  
 グローバルとよなかにて  
 「手おくれにならないうちに私達に出来る事を話合しましょう」

**パネル展示「世界のお正月」**  
 12月27日(土)～1月20日(火)  
 市民活動情報サロン  
 ショーウィンドウにて  
 (豊中駅北改札前)

発行：特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか

TIFA (国際交流の会とよなか)は大阪府豊中市にて1985年11月に発足しました。国際交流は普段着のボランティア活動が原点と考え、メンバーと地域に住む外国人が協力し、国籍が異なる人たちが共に生きやすい社会の実現を目指して活動しています

事務局 〒560-0022 大阪府豊中市北桜塚 4-7-17-109  
 Tel/Fax: 06-6840-1014 E-mail: tifa99@nifty.ne.jp  
 (お問合せ、お申し込みは 月～金曜 09:00～16:00)  
 ホームページ: <http://homepage1.nifty.com/tifa/>  
 最新のイベント情報はホームページをご覧ください



Toyonaka International Friendship Association

TIFA ニュースレター vol.18

特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか 2008年10月 発行

目次

- 2面 (報告)
- 国際子どもキャンプ
- TIFAセミナー
- 3面
- 日本語クラス
- 4面
- グローバルとよなか
- イベント案内

(特活)国際交流の会とよなか(TIFA)は在住外国人とともに住みやすい社会を目指して在住外国人支援・国際理解・国際交流などのプログラムを実施しています。海外協力活動はグローバルな視点で今何が出来るか？を考え、支援を必要としている人たちとともに、出来ることを実施しています。現在はネパールのシンズリ地方の診療所、孤児院「女の子の家」の運営、奨学金の貸与、インドネシア・ジョクジャカルタの震災後に建てたトレーニングセンターの製品開発・販路の手伝いをしています。一緒に活動しませんか？

代表 葛西美紗

ネパール「TIFA子どもの家」での日々

2008年9月から10月にかけて、TIFA会員2名がネパールの「TIFA子どもの家」に滞在し、子どもたちと一緒に過ごしてきました。少女たちの共同生活の一端をご紹介します。

少女の家の朝は4時頃、屋根裏に住んでいる多くの鳩の鳴き声で始まります。5時頃には寮長ビマールさんの声が響き、少女たちが活動をはじめます。食事当番は朝食の準備にとりかかり、その他の子どもたちは掃除をしたり、雲の動きを見ては近くの小川に行って洗濯をしたり、髪を洗ったり、水浴びをします。朝食は9時半頃なので 自分の仕事が終わるとそれまでは自由です。ちょうど試験の時期だったのでみな試験勉強にはげんでいました。子どもたちが朝の学習に取り組んでいる間、私たちは今日一日の予定の相談と準備。スタッフとの語らいにも時間を費やしました。

公立の学校は普通午前10時半から始まり、小学生は1時半過ぎ、その他の子どもたちは2時半過ぎには帰ってくるので、午後はたっぷり時間があります。私たちが滞在していた間は、日本に届ける紅茶を入れる布袋を手作りしたり、編み物をしたり、ミティーラを参考にして絵を描く練習をしたり。少女たちはみな楽しみながら取り組んでいました。1日の終わりは日没とともにやってきました。停電が多く電気はほとんど役に立たないのでランプのもとで夕食をとり8時には就寝するという自然ライフを体験しました。

(衛藤)



TIFA子どもの家(Happy Girls' Home)は、ネパールの田舎シンズリ地方で孤児になった女の子が共同で生活している施設です。1999年よりTIFAと現地のNGOが協力して運営をしています。ご支援をよろしくお願いたします。

# 国際子どもキャンプ

2008年8月6日から8日  
豊中市立少年自然の家(豊能町宿野)にて

昨年とは異なる国(エジプト、インドネシア、韓国、メキシコ、ベトナム)を中心にその国の人々と寝食を共にし、話を聞き、料理を作り、遊ぶという楽しい2泊3日となりました。子どもたち、そして留学生を中心とした講師たちの生き生きとした感想がそのことを物語っています。昨年参加した子どものうちの20数名が再度参加してくれたことも嬉しいことです。TIFAの夏休み行事として、定着させていきたいと思えます。(島本)



## 参加者の母から

キャンプが終わって帰ってきた子どもたちの第一声は、「来年はどこ国のグループに入ろうかな」でした。本やTVで学べないことを肌で感じ体験できたこのキャンプはとても楽しくて実り多いものだったようです。夕食時には、父や祖母に対し、「インドネシアの人口は世界第何位でしょうか?」「島はいくつある?」などの問題を出し、家族で知識を広げることが出来ました。

小学生からこんな体験ができた子どもたちを羨ましく思います。目指せ 国際人!



# TIFAセミナー

## 祖国ビルマの民主化を求めて

2008年9月28日(日) とよなか国際交流センター

今年度2回目のTIFAセミナーは、日本初の難民特別奨学生として関西学院大学に通うミョウさんをお招きしました。ミョウさんは1988年のビルマの民主化要求デモに参加して以来軍事政権からの圧力に身の危険を感じ、1991年に来日。2005年条約難民として認定され、昨年念願の大学進学を果たされました。今回のセミナーで語られた内容は教科書やマスコミからは知りえない貴重なもので、とても充実したセミナーになりました。

- ・ビルマという国に関心を持ち、民主化実現を応援してほしい
- ・難民に対する偏見をなくし、理解し、周りの人にも伝えてほしい

この2つが日本人へのミョウさんからのメッセージです。多文化共生をめざすTIFAの活動により社会的・人道的な視点を広げていきつけたいと思えます。(筒井)



【感想】 ミョウさんは祖国ビルマの声なき声を自ら丸ごと発信してくださった。抑圧された厳しい環境で生きざるを得ない悲しみ。同じアジアに住むものとして、あらためて「知ること」の大切さを学んだ。

「将来ビルマが民主化されたとき、軍事政権下で動かされていた兵士たちの働く場所を作ってあげなければならない」「今は一生懸命勉強して、将来祖国のために祖国で働くことのできる日が必ず来ることを信じ、活動していきたい」とミョウさん。その祖国への熱い思いを心から応援したい。そして、ビルマの人々が平和の礎の上で希望を持ち、世界に開かれた国になることを祈らずにはいられない。(田坂)

# TIFAの日本語クラス

海外から来た人たちが日本で自立した生活が送れるよう、地域の隣人として日本語習得のお手伝いをしています。さまざまな立場の人を対象としたさまざまなクラスがあり、少人数の心の通ったコミュニケーションを大切に進めています。関心をお持ちの方は見学にお越しください。(一部文化庁の委託事業として実施しています)

中国語とベトナム語による日本語教室  
毎週日曜日(2009年3月29日まで)  
午後1時~3時 豊中市立労働会館にて(豊中市三和町)  
(詳しい日程はお問合せください)

日本に技術研修などで定住されている中国およびベトナムからの人向けのクラスです。講師は中国人とベトナム人ですので、母語で日本の暮らしに関するアドバイスも聞くことができると好評です。3級検定に向けて学習している方も多いです。(園頭)

日本語交流サロン  
毎週金曜日 午後7時30分~9時  
とよなか国際交流センター研修室にて

日本語を母語としない人を対象に、日本語での交流をしています。参加者それぞれのニーズに合わせて、日常会話や日本語能力試験問題の勉強をしたり、また、お茶をのみながらお互いの文化に触れ合い楽しいひと時を過ごす... そんな場の提供もしています。最近はペルーやネパール、ベトナムの方たちが日本語習得にがんばられています。(石墨)



日本語交流サロンにボランティアとして参加して「日本語交流サロン」に通いだして3年目を迎える。多くの方が出入りする。池田のダイハツを仕事場とする韓国人の方々やその家族。タイの女性、ペルーの日系人の女性とその親戚。カナダ籍の中国人の青年そして多くのベトナムからの研修生。先日ベトナムの青年が「原子爆弾を知っています」「学校で習ったのですか」と尋ねると「少し」。そこで次の週、写真集を持参しその青年に見せると「怖い」と顔をしかめる。私が本に書いてある詩を数編読むと5人の青年は皆黙って聞いてくれた。彼等の両親や祖父母はベトナム戦争を体験している。しかし彼等は知らない。「戦争は怖いですね」と言うとコクリとうなずいてお茶の時間となった。(奥田)

日本語教師をめざす外国人のための日本語講座  
毎週月曜日午前10時~  
グローバルとよなかにて

今年2008年7月より始めました。外国人が講師になって、わかりやすい日本語の教え方を勉強しながら、学んでいます。学んでいる人は子どもづれのインドネシア、ネパール、ナイジェリア、韓国などの人です。(葛西)



ナイト漢字クラス  
毎週水曜日 午後7時30分~9時  
とよなか国際交流センター2階にて

1998年2月にスタートしました。漢字、日本語を学びたい人が対象です。現在、学習者は社会人や研修生のベトナム人、中国人、学校教育をアメリカで受けた日本人などです。ボランティアは登録制ですので、ボランティア希望の方はご連絡ください。(中田)

大阪大学基礎工学部留学生相談室内での日本語学習サポートボランティア  
(随時)

大阪大学の主に基礎工学部の留学生・研究員・その家族などにボランティアとして日本語を教えています。世界中のさまざまな国から来た若い人たちのエネルギーに触れて、楽しく続けています。



(田坂恵美子)